

宮崎木質バイオマス発電事業への出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機構）は、くにうみアセットマネジメント株式会社（所在地：東京都千代田区 代表取締役：山崎養世）が株式会社宮崎森林発電所（所在地：宮崎県児湯郡川南町 代表取締役：山下壽、以下事業者又は SPC）と共同して計画する木質バイオマス発電事業に 3 億円の出資を決定致しましたのでお知らせします。

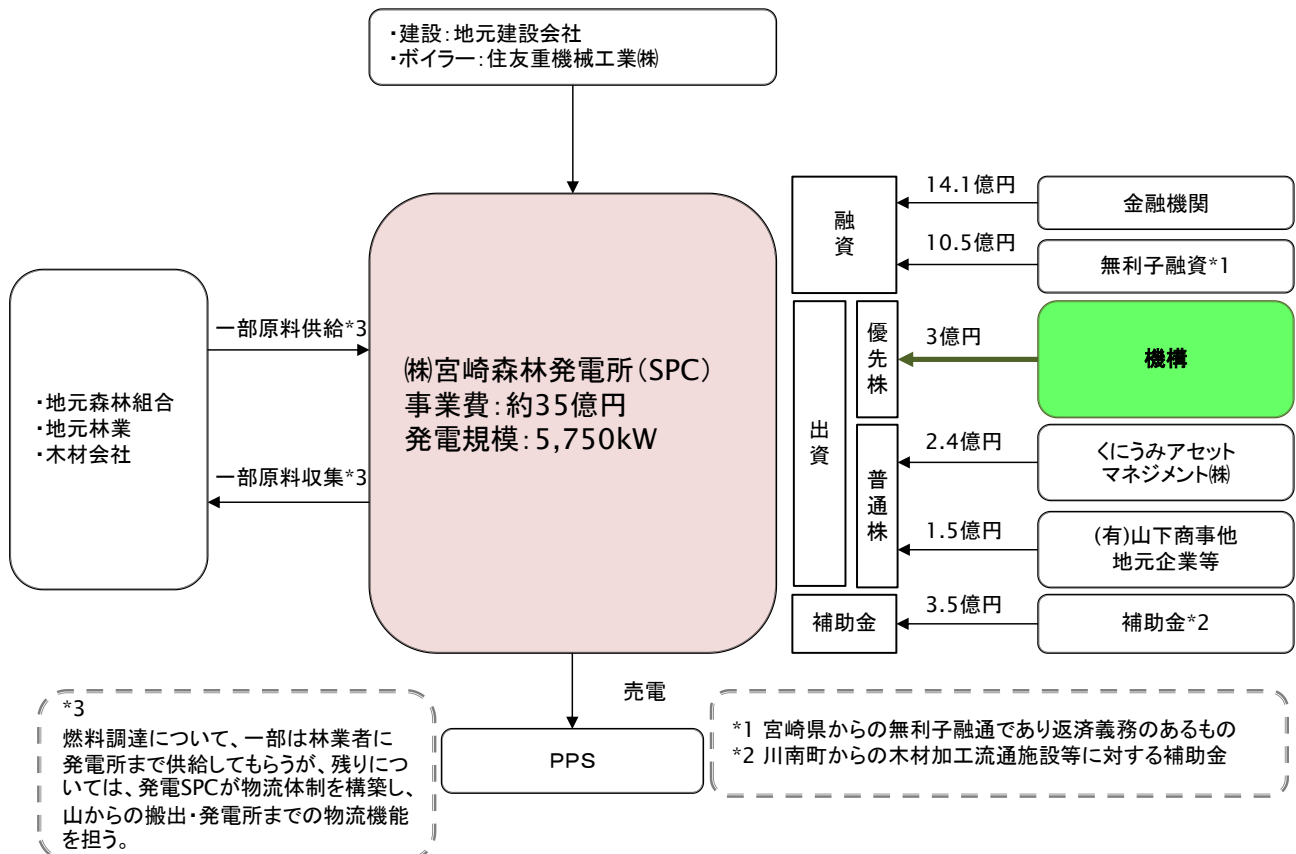
本事業は、宮崎県児湯郡川南町において、間伐材を中心とした未利用バイオマス資源を活用した木質バイオマス発電事業です。

木質バイオマス発電事業は、バイオマス燃料の調達量を安定的に確保することが事業のポイントであると理解されています。一方、バイオマス燃料の安定的な調達には、木の伐採・山からの搬出・発電所までの物流・乾燥・チップ化等の各種工程の整備と林業者との良好な関係構築が必要不可欠なものです。

本件は、林道の整備が進んでいる宮崎県内に位置することから、事業者が搬出の一部と物流機能を担うことが可能となり、担い手が減少している林業者の負担を軽減するとともにバイオマス燃料の安定的な確保を実現し得る事業モデルです。

機構は、事業者がバイオマス燃料を直接収集する事業モデルであること、加えて機構の出資が民間資金の呼び水となり、安定電源としての期待が高く、地域活性化効果も高い木質バイオマス発電事業の普及・促進に貢献できることに鑑み、出資決定致しました。

1. スキーム概要



(説明)

- ① 本事業の SPC である(株)宮崎森林発電所に、メインスポンサーであるくにうみアセットマネジメント(株)が 240 百万円、機構が 300 百万円、(有)山下商事他地元企業等から 150 百万円、を出資します(融資は金融機関等で 1,410 百万円を予定)。また、宮崎県から無利子融資 1,050 百万円、川南町から補助金 350 百万円(木材加工流通施設等に対するもの)の採択を受けております。
- ② SPC は上記資金を利用し、住友重機械工業(株)、地元建設会社を中心に木質バイオマス発電所を建設し、稼働後は、SPC が発電設備の維持・管理・保守を担います。また、発電電力は特定規模電気事業者(PPS)へ売電します。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 事業者が燃料調達における一部物流機能を担うことで、木質バイオマス発電事業の課題を解決するモデルになり得ること。
- ② 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること(本事業による CO2 削減効果は、22,163t-CO2/年を想定しています)。
- ③ 本事業が実行されることで、i) 林業者との共存・共栄を図ることで、林業者の発展に寄与する可能性があること、ii) 間伐等による隣地残材が燃料に使用されることで、森林の適切な保全に繋がること、iii) 発電所の運転員だけに留まらず、燃料収集人員の雇用等の地域雇用を生むこと、により地域活性化に資すること。

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
